

東南おきたま米づくり情報 No.7

目標茎数が確保された圃場から速やかに中干し開始！ 茎数が少ない場合は、茎数確保を最優先！

草丈は平年値より短く、茎数が平年より多い状況です。有効茎数を確保した圃場から直ちに中干しを開始しましょう。一方で生育が遅れていたり、茎数が不足している圃場が一部で見られます。まずは圃場に行って茎数や葉色などの生育状況を確認しましょう。遅くとも7月初めには中干しを始められるよう、適切な水管理で、分けつを促しましょう。

生育状況（6月19日現在、置賜農業技術普及課生育診断圃）

「はえぬき」の生育

項目	川西町吉田		概況 (平年値との比較)
	調査値	平年比・差	
草丈(cm)	28.5	101	平年並み
茎数(本/㎡)	432	137	多い
葉数(枚)	5.7	-0.3	やや少ない
葉色(SPAD)	32.2	+0.6	平年並み

「つや姫」の生育

項目	川西町黒川		概況 (平年値との比較)
	調査値	平年比・差	
草丈(cm)	33.9	100	平年並み
茎数(本/㎡)	451	123	多い
葉数(枚)	7.8	+0.1	平年並み
葉色(SPAD)	36.3	+6.0	濃い

「雪若丸」の生育

項目	高畠町山崎		概況 (平年値との比較)
	調査値	平年比・差	
草丈(cm)	24.9	79	短い
茎数(本/㎡)	518	120	多い
葉数(枚)	8.3	-0.3	やや少ない
葉色(SPAD)	50.4	+4.4	濃い

1か月予報（6月18日 仙台管区气象台 発表）

気温：6/20～6/26：低い見込み
6/27～7/3：平年並み～高い見込み
7/4～7/17：平年並み～高い見込み
降水量：やや少ない～平年並みの見込み
日照時間：平年並みの見込み

有効茎数確保後は、直ちに中干し・作溝を開始！

- 穂肥の前に、過剰生育を抑え、根張りの促進**を図り、穂肥がしっかり行える稲姿にしましょう。
- 目標茎数の8～9割に達したら、遅れずに中干し・作溝**を実施しましょう。
- 中干しの目安はほ場に小ヒビが入る程度**ですが葉色や生育量に応じて中干しの強度（乾き具合）を調節します。
- 中干し後は、走り水で飽水管理をした後に、徐々に間断かん水（2日湛水・2日落水）に切り替えます。

品種別の目標茎数の目安（本/株）

品種	1株当たりの目標茎数 70株/坪植えの場合	
	60株/坪	70株/坪
はえぬき	23本	20本
つや姫	20本	20本
雪若丸	27本	20本
ひとめぼれ	24本	20本
あきたこまち	22本	20本
コシヒカリ	23本	20本

【中干し・作溝の効果】

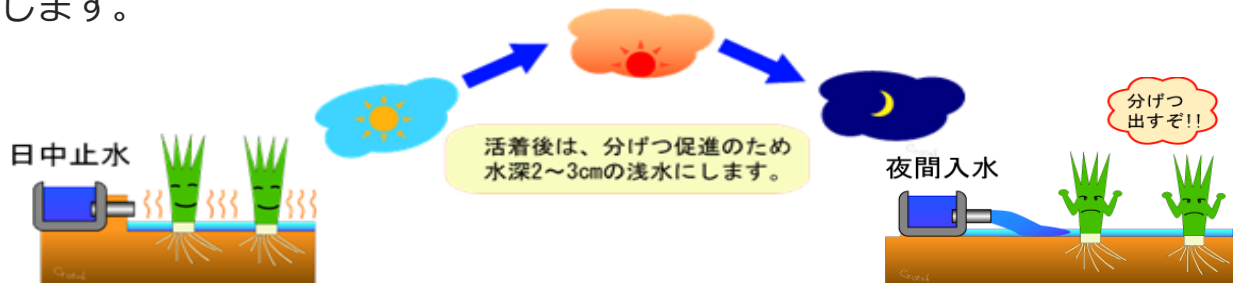
- ◎無効分げつの抑制、根の健全化、受光体勢の良化 → 登熟向上、倒伏軽減
- ◎登熟期の灌排水の効率化 → 地耐力の向上

茎数が不足しているほ場は茎数確保を優先！

○茎数が不足しているほ場では、引き続き以下の2つの管理で分げつを促進し、6月中に有効茎数を確保するように努めましょう。

① 浅水管理（水深2～3cm） ② 昼間止水・夜間かんがい

○土壌の還元が進んでいるほ場がみられます。異常還元（ワキ）で、生育が停滞し、葉色が低下しているほ場では、速やかに水の交換や一時的な落水（2～3日の田干し）を行います。茎数が不足している場合は、水交換または夜間のみの落水とします。



取り置き苗は速やかに撤去！早期発見・早期対策を！

- 補植用取り置き苗は葉いもち発生の大きな要因です。圃場に残っている場合は、速やかに撤去しましょう。
- 穂いもちを抑える一番の対策は、葉いもちを広げないことです。稲をよく観察し、早期発見・早期防除を心掛けましょう。



葉いもちの病斑

斑点米カメムシ類の発生はやや多い！（県病害虫防除所予察状況）

- 畦畔・農道、雑草地の除草（草刈り）を地域ぐるみで行い、地域全体の斑点米カメムシ類の生息密度を下げましょう。
- 水田内のイヌホタルイやノビエは、アカスジカスミカメの発生源になります。残草対策もしっかり行いましょう。



アカヒゲホソミドリカスミカメ アカスジカスミカメ

農作業事故と熱中症に要注意！ 声をかけ合い農作業事故ゼロへ！

複数人での作業実施、施設や道具の点検、転落防止のための対策などを徹底しましょう。また、こまめな休憩と水分補給。ゆとりをもった無理のない作業を心掛けましょう。

山形県農薬危害防止運動 実施中！ 農薬使用の際は使用基準を再確認！